

鹿児島県医師連盟 FAX ニュース

※会員の皆様へ 鹿児島県医師連盟編集・発行のFAXニュースです。医師連盟関係の情報を随時お送り致します。

編集・発行 鹿児島県医師連盟 TEL : 099 - 213 - 1011 FAX : 099 - 213 - 1012

県知事選、塩田氏への推薦、正式に取り下げ 「医療・福祉政策に失望、対話の機会もなし」 池田委員長、記者会見で表明

鹿児島県医師連盟（600人）の池田琢哉委員長は14日午後1時半から県医師会館で記者会見を開き、7月の県知事選に立候補予定の現職、塩田康一氏（58）への推薦を正式に取り下げると発表した。池田委員長は「こども医療費窓口負担ゼロなど、我々の要求に答えていない」などと、塩田知事の医療政策を批判。今後については、郡市医師連盟と協議して、県医師連盟としての対応を決めたいという。

池田委員長は推薦を取り下げた理由として、「塩田知事と交わした政策協定の内容に齟齬が生じたため」、「鹿児島の医療・福祉に関し、医師会と県知事自らが対話する機会がこれまで一度も設けられていないため」「県議会でいわしげ仁子氏が行った救命救急センター指定に関する知事答弁」など5項目を挙げた。

救命救急センターの新規指定を巡っては、塩田氏が6日の県議会一般質問で「センターの設置割合は他県と比べて低い。鹿児島市でも充実が必要」と指定を進める方針を示したことに対して、強く反発した。救命救急センターは米盛病院が県に指定を求め、県は「要件を満たしている」として、指定の方向で県医療審議会に諮問した。本年3月の審議会は4時間にも及び、賛成、反対の立場から様々な意見があり、現時点で答申は出されていない。会議の中で出された「オンコール体制が多く、また診療科や医師の数なども整っておらず、県民の命を守る最後の砦としては不十分である」などの課題を示した点を盛り込んだ審議会会長作成の答申案原案について、県は「我々の考えとは違う」とし、審議委員へ配布し、確認を行うことすらせず、審議会そのものを軽んずる態度を示している。

この一件だけではなく、期待されたこども医療費負担ゼロへの対応の不十分さに加えて、塩田氏が知事に就任して以来、この4年間、医療・介護など県の医療政策についての「対話」もほとんどなく、医師会長としてコンタクトを求めても、塩田氏側からの反応はなかった。

記者会見で塩田氏との関係について、池田委員長は「塩田氏に知事就任後お会いして、県の医療政策の課題、県医師会の要望などを話したが、しっかりと向き合って話し合う機会はなかった。知事の医療に対する考えは、全くわからない」などと述べた。

会見では、今後の自民党との関係を懸念する質問も出されたが、県連の森山裕会長とのやりとりも念頭に、「自民党との関係はこれまでどおり」と強調した。

知事選への今後の対応について再三質問があったが、「委員長の一存で決めるものではなく、これから郡市医師連盟と十分協議し、委員長として取りまとめていきたい」と述べている。

(文責・事務局)